

株式会社襟立製帽所_現代のライフスタイルにマッチした新しい日常雑貨のデザイン

令和8年度デザインマッチング事業

デザイナー・クリエイターの皆様へ

このマッチングシートは、本事業の参加企業から提出されたデザイン案件の概要です。マッチング（デザイン提案）したい企業を選ぶ際の参考にしてください。

（※複数企業への応募も可能です）

1. 企業の概要

企業名	株式会社襟立製帽所
代表者職氏名	代表取締役 襟立 重樹
業種	製造業・繊維工業・帽子製造業
所在地	〒719-0243 岡山県浅口市鴨方町鴨方 160-8
事業内容	1960年に浅口市で麦わら帽子の生産で創業しました。企画から製造、販売までを一貫して行い、倉敷美観地区に2店舗（襟立製帽所倉敷本町店・erittostore）を構えています。 麦わら帽子の製造方法を応用したブレード帽子の製造に加え、井原市の綿織物を使用した帽子、衣類、カバンなどの服飾雑貨も製造しています。自社店舗のほか、東京（日本百貨店ほか）、大阪（クラシキKITTE大阪）、岡山（岡山高島屋、天満屋倉敷店、アイビースクエアほか）に常設店舗を展開しています。 また、カタログ販売や通信販売会社3社への卸売のほか、OEMではアパレルブランドのBEAMSや帽子ブランドのCA4LAを中心に、企画提案から製造までを行っています。 【企業 HP】 http://www.eritate.com/ 【オフィシャル EC】 https://eritatehat.com/   

株式会社襟立製帽所 現代のライフスタイルにマッチした新しい日常雑貨のデザイン

自社技術	5mm～10mm 幅のブレード（紙や麻素材をテープ状にした材料）を木型に合わせ、帽子職人が縫製する技術を持っています。特に、ブレード縫製に使用する本縫いアームミシンを使って帽子を製造できる職人は国内に数人しかおらず、そのミシンを所有する会社も数社（4社ほど）しかありません。 また、綿生地を手配しやすい環境（井原市に近い）にあり、本縫い平ミシンを用いたきめ細かい縫製で、婦人服やオリジナルテキスタイルによるバッグも製造しています。ブレードと生地という異素材を組み合わせた縫製技術は、自社の最大の強みです。
-------------	--

2. デザインマッチング案件

カテゴリー 選択してください	☒【新規開発】新商品のデザイン（企画段階や設計・試作段階でも構いません） ☐【改良】既存商品を刷新するためのデザイン
デザイン案件 の概要	※デザインしてもらいたい商品の概要など、現段階で決まっていることを情報公開しても差し支えない範囲で記入してください。 「現代のライフスタイルにマッチした新しい日常雑貨のデザイン」 弊社は長年帽子の企画製造を行ってきましたが、近年は価格競争の激化や気候変動に大きく左右されるため、帽子依存の体質から脱却が急務となります。 長年培ったブレード縫製の技術を活かし現代のライフスタイルにマッチしたインテリア雑貨の開発を行い自社ブランドの確立で収益を安定したいと考えます。 麦わら帽子の発祥の地（技術）・地場産業が綿織物（テキスタイル）の2点にスポットをあてたストーリー性の高い「新しい日常雑貨」をコンセプトにした地域発信のブランドをイメージしています。 過去 BEAMS JAPAN とのコラボレーション企画で「かぶらない帽子」があります。  BEAMS JAPAN コラボ第1弾 「かぶらない帽子」  BEAMS JAPAN コラボ第2弾 「なまこ壁デニム製品」

株式会社襟立製帽所 現代のライフスタイルにマッチした新しい日常雑貨のデザイン

	(自社ブランド一覧)  <ROUBOU> 労働者のルーツや生活スタイルから着想を得て、時代の変化をとらえながら生地、パターンメイキング、縫製といった細部に徹底的にこだわり機能性と耐久性を兼ね備えたプロダクトブランド  <eritto> 古き良き時代に使われてきた仕事着のデザインをソースに、独自に開発したテキスタイルや現代的要素を取り入れ、使い手の理想を具現化したブランド  <kakera> 2026 年 8 月にスタートしたブレードから生まれる装身具 帽子の製造過程で生まれるブレードの端材や欠片 (kakera) 積み重ねてきた歴史と職人の手を経た素材に新しい息吹を吹き込み、帽子という枠を超えたアップサイクル・クラフトブランド
デザイナーに期待すること	※こういった使い勝手のデザイン、こういったイメージのデザインを提案してほしい。商品の企画段階からブランディング、販路開拓まで一気通貫して関わってほしい。など、デザイナーに対する要望を記入してください。 弊社の持つブレード縫製の高い技術と様々な素材が手配できる背景の強みを最大限に活かしつつ、ターゲット層 (30~40 代のこだわりを持つ層) に響く現代的で洗練されたデザイン及びロゴやパッケージを含めたブランドのトータルデザインを共創していただけたらと考えます。 また、商品完成後に、認知度向上のため SNS を使った発信の仕方や収益を上げるための展示会出展やオンラインショップのアドバイスが得られたらと考えます。